2022-2023
週 報

SAYAMA CHUO

ＲＩ会長　ジェニファーE. ジョーンズ
ＲＩテーマ　『イマジンロータリー』
地区ガバナー　村田　貴紀
地区スローガン『地域と世界でつながる力を磨き
奉仕を実践しよう！』

イマジン
ロータリー

国際ロータリー
第２５７０地区

# 狭山中央ロータリークラブ

会長 渡邉高治　会長ｴﾚｸﾄ　副会長 寳積英彦　幹事 小林奈保絵

事務所　〒350-1305 狭山市入間川１-24-48
ＴＥＬ: 04-2952-2277　ＦＡＸ: 04-2952-2366
E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp　ＨＰ: https://www.schuohrc.org
例会場　ニックス 〒350-1305 狭山市入間川 4-25-3 TEL: 04-2954-9595

［第３ｸﾞﾙｰﾌﾟ例会日: 新狭山㊐ 入間㊏ 入間南㊋ 飯能㊋ 日高㊋ 狭山中央㊎ 所沢㊋ 新所沢㊋ 所沢西㊋ 所沢東㊏ 所沢中央㊐］

# 第1322回 （2月17日） 例会の記録

点　　鐘　渡邉高治会長
合　　唱　四つのテスト
第２副ＳＡＡ　東会員　江原会員

出 席 報 告　出席向上委員会 沼﨑正徳委員長

| 会員数 | 出席者数 | 出席率 |
|---|---|---|
| 20 名 | 14 名 | 77.78 ％ |

## 会長の時間

### 渡邉高治 会長

桑原晃弥氏著書
【 逆境を乗り越える渋沢栄一の言葉 】
のご紹介

### 01 人には「人徳」、企業には「社徳」が必要だ

**本当の経済活動は、社会のためになる道徳に基づかないと、決して長く続くものではない。**

かつて韓国のサムスングループの会長がトヨタ自動車を訪ね、当時の奥田碩会長に「長く高収益を維持する会社になる秘訣」を尋ねたところ。奥田の答えは「社会貢献を行う『社徳のある会社』にならなければ企業は発展しない」でした。
人に「人徳」があるように、企業にも「社徳」が求められます。社徳なき会社が巨額の利益をあげると世間から批判されがちですが、社徳のある企業は尊敬され、成長し続けることができるのです。
渋沢栄一の考える経済活動も、まさにその通りでした。道徳を重んじたとしても、「経済」が「利益を少なくして、欲望を去る」必要はありません。経済活動の目的は利潤を上げ、物質的な豊かさをもたらすことです。しかし、一方で「自分さえ儲かれば」となってしまうと、「人はどうでも良い」となり、人も国もダメになります。
大切なのは「ものの豊かさを実現したい」と経済活動に励む一方で、「道理」を持つということなのです。「自分さえ良ければ」は、結果的に自分の利益さえ損ないがちです。
道理と欲望をバランスよく取ることこそが経済を発展させ、人や国を富ませることになるというのが、渋沢の信念でした。

### 02 事業の成否は「出発点の確かさ」で決まる

**物事はすべて出発点が肝要である。
事業を計画するにあたっては、念には念を入れて四つの諸条件を具備するや否やを見極めなければならぬのである。**

渋沢栄一は、生涯に 500 以上もの企業の設立に関わっていますが、それには何でも良いわけではなく、「4 つの条件」が備わっているかを、しっかり事前に検討しなければならないと考えていました。

① 計画する事業が、今の世の中に必要か？かつ公益性を持っているかどうか？
確実に儲かる仕事でも、この条件を備えないものはやろうとしませんでした。
② 計画する事業は、時代に合っているか？
いくら正しく必要な事業でも、時代に合わなければ不成功に終わります。
③ 資本が確実に得られる成算があるか？
「何とかなる」という漠然とした考えでは、経営はうまくいきません。

④ 経営者に、全責任を負い信頼に足る人物がいるかどうか？
事業の成否は「人」で決まるので、事前準備の中でも特に大切です。

渋沢はこの 4 つの条件に付いてしっかりと検討し、準備を怠らなければ、事業を始めても大丈夫と考えていました。もちろん、渋沢自身、事業を成功させるまでにたくさんの苦労をしていますが、それができたのは事業の社会的意義などへの確固たる自信があったからで、「出発点」の確かさこそが事業をやり抜く力となったのです。

## 03 独創のためには「環境の整備」に努めよ

**世界の大舞台に立って活動せんとするには、何事も模倣であってはならぬ。**

「日本人はただ模倣の国民である」という欧米からの批判に反発して「日本人の絶対の力のみを持って一大発明を遂げよう」と奮闘、世界に誇る自動織機を発明したのが、トヨタグループの始祖、豊田佐吉です。
豊田が指摘したように、明治維新後の日本は、欧米に「追いつけ、追い越せ」と頑張りはしたものの、「独創」という点では遅れをとっていたのは事実です。
渋沢栄一も同じことを懸念していました。
多くの産業や企業を興すことに尽力はしたものの、「技術上に関する方面を見るに、すべてが模倣の域を脱しない状態である」と断じています。その理由として、頭脳や技術は互角でも、研究機関が十分でなく、研究者の待遇が「よろしくない」ことを指摘しています。模倣を脱し、独創という面で欧米と伍していくうえで大切なのは、設備を充実させて、研究者が後顧の憂いなく研究に専念できるようにすることだとして、政府や大富豪の頑張りに期待したいというのが渋沢の持論でした。
模倣はたしかに楽ですが、世界をリードするには独創の技術が不可欠です。そのためにも、国も企業も、未来への投資は決して惜しんではならないものなのです。

## 04 子育てと同じ忍耐力で経営せよ

**事業の経営にあたっては、当事者は絶大なる忍耐力が必要である。**

渋沢栄一は、たくさんの企業を経営しただけに、企業を経営するにあたっては「出発点が肝要」であるだけでなく、その後の経営の難しさも熟知していました。渋沢はそれを子育てに例えています。
生まれたばかりの赤ん坊が「癇も起こらず風邪も引かず、順よく育て」ば良いのですが、現実には「注意に注意を加え、大事に大事をとって育てても、時に下痢を起こしたり、風邪を引いたりすることが多い」ように、事業の経営も「よろず違算ないつもりで経営しても、創業当時にはいろいろ思い設けぬ出来事があったり、不可抗力の損失を招いたりして、順調に進まぬことが少なくない」というのです。
そんな時、経営者に「いかに苦境にあってもどこまでも切り抜けてやり通していくだけの忍耐力」が欠けていると、つい事業の継続を諦め、投げ出すことにもなりかねません。
アップルの創業者スティーブ・ジョブズも「創業というのは親になることと同じ経験だ。親としての本当の喜びは、自分の子どもと共に人生を歩み、その成長を助けることだ」と話していましたが、たしかに企業経営は、我が子を育てるような忍耐と我慢を経て、初めて本当の喜びを味わうことができるのです。

本日ご紹介しました桑原晃弥氏の本には渋沢栄一の 80 の言葉が載っています。
また機会がありましたら、残りをご紹介させていただきたいと思います。

## 幹事報告

＜ 小林奈保絵　幹事 ＞

**報　　告**

・3 月のプログラムが理事会で承認
・大野裕一会員、業務の都合により 1～6 月休会
（理事会で承認済み）
・3 月 24 日（金）例会臨時変更
「米山記念奨学生ウエンフォンマイさん送別夜間例会」
場所：垰代川
時間：18 時より
・2023 年度の米山記念奨学生決定
名前：朱思遠（ジュ　シエン）さん（中国）
期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
カウンセラー：田端都女子会員

**回　　覧**

・ロータリーの友事務所より
「2023-24 年度版ロータリー手帳予約のご案内」
・地区事務所より「国際大会主催ツアーについて」
・地区事務所より「全国囲碁大会のご案内」
・ハイライトよねやま

**他クラブ例会変更のお知らせ**

・入間南 RC
・飯能 RC

## マイさん、お帰りなさい！

米山記念奨学生グエン フォン マイさんがベトナムから帰ってきました。
そしてなんと
会員全員に
ベトナムのお土産を!!!!!

ご馳走さま！
美味しくいただきました！

**久しぶりのマイさん参加で例会場が明るくなりました！**

# 会員卓話

東 美栄 会員

## ・・・・・ 徒然なるままに米山 ・・・・・

2002 年に狭山中央ロータリークラブに迎えていただき今年で 21 年になります。
入会するまでロータリークラブを「キリスト教系の奉仕団体」だと思っていました。実際に入ってみると宗教色はまるでなかったのですが「寄付」や「奉仕」の機会を頂けるのは想像していた通りでした。ありがたいです。
やがて私に「会長の順番」が回ってきました。ロータリークラブには「はいと YES しかない」とクラブの先輩方から教わっていた私はその場で快諾しました。そして会長エレクトを経て、令和元年に会長就任。
しかし新型コロナウィルスの感染拡大から例会は激減。地区大会も IMも中止。何もしないまま任期が終わってしまいました。しかし「パスト会長バッジ」だけはつけさせていただいています。
パスト会長になってからは米山記念奨学会の地区役員のお役目をいただきました。ありがたいです。

さて、本日はその「米山記念奨学会」についてお話したいと思います。
この奨学金は日本のロータリークラブ独自の制度です。よく「ロータリー財団の奨学金制度」と勘違いされることがありますがロータリー財団とは別組織です。
「自分は寄付していない」と思った会員もいるでしょう。しかしそんなことはありません。ここにいる全員、一人残らず米山に寄付しています。
先日みなさんの元に 1 枚の領収書が届いたと思います。狭山中央の会員であれば全員、一律 4,000 円が納めた会費から「一般寄付」として納められています。この領収書は確定申告でお使いいただけます。
ちなみに一般寄付の金額はクラブによって異なります。1 万円以上のクラブもあります。もちろん個人的にもっと寄付することも可能です。こちらは「特別寄付」となります。金額は全く自由です。よく「一口 10 万円以上」とか「10 万円単位」と勘違いされるのですが、寄付額が 10 万円に達するごとに感謝状が発行される、というだけのことです。一年間に寄付した額の合計が領収書として年明けに届きます。確定申告で寄付金控除の対象となります。少額でも寄付を繰り返していると、いつの間にか表彰されるとお考え下さい。「ガバナー月信」に写真入りで載るのも累計で 10 万円単位です。
「ニコニコ BOX」のように「ヨネヤマ BOX」を設置しているクラブもあります。BOX の傍らには氏名と金額を記入する用紙があって、いつもの例会場で気軽に寄付ができます。用紙の記入欄は「氏名」と「金額」だけ。ニコニコのようなコメント文はいりません。本当に簡単です。「米山記念奨学会」は勉学、研究のために日本に在留している留学生を対象に、返還のいらない奨学金を支給し、学生の一人一人に個別カウンセラーを付け、ロータリーの様々なイベントに「ゲスト」としてではなく「クラブの一員」として参加できる機会を提供するユニークな奨学金制度です。

ここでおさらいです。この制度は日本のロータリーの父・米山梅吉の功績を記念し 1952 年に東京ロータリークラブが「米山募金」として始めました。寄付者第 1 号は日本人ではなく、東京ロータリークラブの常連だったアメリカ人のウィリー・ネルソン氏。奨学生第 1 号は東京大学に留学していたタイ人のソムチャード・ラタナチャタさんでした。

米山梅吉氏も若い日には「留学生」を経験しています。そして人生の幾多の要所で、よき出逢いに恵まれました。旧姓「和田梅吉」は 1868 年、大和国高取の藩士・和田竹造と静岡三嶋神社の神官・日比谷右京の娘・うたの三男として東京に生まれました。4 歳の時に父が亡くなり、母の郷里・静岡に移ります。7 歳からは兄・和田栄次郎が教師を務める「映雪舎」で学びました。幼いころから神童と言われた梅吉が 11 歳の頃、土地の名家・米山家が「養子にしたい」と望みます。梅吉には人を惹きつける魅力がありました。素直で誠実。その性質が梅吉にすばらしい「師」との出逢いを引き寄せたにちがいありません。そして 20 歳の時、正式に米山家の養子となった梅吉はアメリカに留学。留学先でも多くの「師」と出逢います。そして帰国後にはあの「勝海舟」に師事。勝海舟というと、日本人の多くは「坂本龍馬」を連想します。坂本龍馬は郷士（下級武士）の出身。いたって平凡でとても歴史に名を残すような人物ではありませんでした。若くして脱藩。故郷の土佐（高知県）を飛び出し、江戸に出て来た後も、なんとも乱れた生活を送っていました。そんな龍馬を変えたのが、勝海舟との出逢いでした。
「よき師との出逢い」。米山梅吉氏もそうですが、勝海舟によって見出された坂本龍馬。この師弟の関係は「ある人物」を思い出させます。それは「伯楽」です。古代中国・春秋時代の人物で、本名を孫陽といい、秦の皇帝・穆公（在位は紀元前 660-621 年）の治世に「馬の目利き」として知られた人物です。自動車や航空機のなかった時代、馬の良し悪しが戦の勝敗、ひいては国の命運をも左右したと言って過言ではありません。馬を見る目はとても重要でした。
「世に伯楽あり、然る後に千里の馬あり」という言葉があります。世の中には才能や素質を持っていても、見出し育ててくれる「伯楽」に出逢えず埋もれてしまう人がたくさんいます。1 日に千里も万里も走る名馬に育つ素質を持った馬を見抜くことが難しいように、非凡な人物を見出すことはとても難しいです。
米山記念奨学会の奨学生は、エントリーした段階で既に例外なく逸材です。なぜなら長年、大勢の学生を指導してきた大学、大学院の教授陣、いわば現代の「伯楽」から推薦されているからです。そしてそれを裏付ける成績証明、熱意伝わる研究計画書や小論文。甲乙つけがたい中から選ばれた米山記念奨学生は一人一人が世界の財産。まさに「人財」です。

そんな米山記念奨学生ですが、みなさんは普段はなかなか接する機会がないかもしれません。狭山中央ロータリークラブはグエン・フォン・マイさんの世話クラブで、カウンセラーは田端さんが務めていらっしゃいます。先日の米山月間には坂戸さつきロータリークラブが世話クラブのヒョウ・コウエンさんをお呼びして卓話を披露していただきました。
私は米山の地区役員として奨学生に同行し、様々なクラブに訪問しています。奨学生の卓話はどれもみな素晴らしいものでした。その中のいくつかを感想も交えながらお話します。

**【ヒョウ・コウエンさん】**

プログラム委員長の柴田さんから「奨学生を卓話に呼びたい。誰か推薦してほしい」と頼まれ、私は迷うことなくヒョウ・コウエンさんを推しました。
その理由は 2021 年 11 月 8 日にさかのぼります。
所沢中央ロータリークラブから奨学生卓話に招かれたコウエンさん。当時も私は地区役員として同行しています。コウエンさんは故郷を紹介する内容を中心に話していました。それはそれで、とてもよかったのですが、「できればコウエンさんの専門分野についても話してほしかった」という声がありました。それを伝えたところ「私の研究の話をしたら、みなさん退屈して寝てしまいますよ」とコウエンさんは笑っていました。
そして 1 年後。私はコウエンさんの成長ぶりをぜひ拝見したいと思い、真っ先に推薦しました。当時のアドバイスを覚えていたのか、コウエンさんの卓話は導入部にこそ故郷の紹介がありましたが、その後は研究内容についての話が写真や映像も用いて進みました。とても興味深い内容だったと思いませんか。卓話の後、そしてさらに例会が終わってからもコウエンさんの周りには、「もっと話を聴きたい」とみなさん集まっていましたね。
大学の研究室で実験中に事故にあい、大怪我を負ったコウエンさんですが、リハビリに励み、研究を続けています。大変な事故にあったにもかかわらず、コウエンさんはいつも笑顔を絶やしません。常に前向きな姿勢は強靭な精神力の表れだと思います。本当に素晴らしいです。

**【グエン・ティ・ヒエップさん】**

ミンちゃん（グエン・ティ・ヒエップさんの愛称）とは川越西ロータリークラブと所沢東ロータリークラブをご一緒しました。
川越西クラブの時はきちっとした「スーツ」姿。所沢東クラブではベトナムの民族衣装「アオザイ」を着用していました。やはり民族衣装は目を引きます。しかし一度目と二度目で違ったのは「見た目」だけではありませんでした。話す内容は同じでも回を重ねるごとに日本語が上達しているのがわかります。同じ奨学生の卓話を複数回、聴く機会があると短期間であってもその上達ぶりには驚かされます。
グエン・ティ・ヒエップさんは自分のニックネームの由来をプロジェクターに映し出された写真や映像を用いながら話してくれました。それはご両親の職業に関係していました。
「自家製麺」の製造と販売。ベトナム語で「麺」は「ミン」というのだそうです。
一見、日本の「きしめん」に似たやや幅広の麺ですが、作り方は全く違いました。そもそも原料は米で、始めは一枚一枚まるで大きなクレープのようなシート状に蒸しあげ、それを器用に折りたたんでから裁断する。その麺を使った料理の紹介もありました。「おいしそう！食べてみたい！」会場からどよめきが上がりました。
ご両親は作った自家製麺を市場で販売し、子供たちを立派に育てたそうです。しかし子どもの頃のグエン・ティ・ヒエップさんはご両親が「市場で物を売っている」という理由だけで、一部のクラスメイトからいじめを受けたそうです。しかし自分のニックネームを「ミン」（麺）にしていることからも、ご両親のことが大好きで、その職業も含め、心から誇りに思っていることがよくわかります。
二回の卓話を聴きながら「ミンちゃん」は本当に親孝行な人だと思いました。

そして狭山中央ロータリークラブが誇る
**【グエン・フォン・マイさん】**

同じ狭山市内の「兄弟クラブ」にあたる新狭山ロータリークラブから卓話依頼がありました。
マイさんと会場に着くと、なんとそこにはカウンセラーの田端さんがマイさんを応援するためにいらしていたのです。新狭山ロータリークラブとは普段から交流がありますよね。先方の会長さんや例会の会場もよく知っているため、私は油断していました。なんと！マイさんが卓話で使う「プロジェクターとスクリーン」を手配し忘れていたのです！どの例会場にも必ずある物だと勝手に思い込んでいたのです。大変だ！とっさに考えを巡らせました。
「ここはホテル！宴会やセミナーもやっている！映写機は絶対にある！貸してもらおう！」
ホテルのフロントへ向かうために会場を飛び出そうとした、その時です。「え！？」
あるじゃありませんか！！プロジェクター！スクリーンも！「どっ、どこから出てきたの！？」
田端さんです！その例会場は、たまたま田端さんが毎週開催しているセミナーで使っていらっしゃる部屋で、その時に使用する機材がたまたま会場に預けてあったのです。田端さんは機転を利かせ、速やかに出してくださいました。私があっけにとられている間に、新狭山ロータリークラブの会員の方々も設置を手伝い、例会はスタートしました。
マイさんの卓話は大盛況のうちに無事に終わることができました。
私のミスで大変なことになるところでした。しかし、このエピソードのおかげで私は改めてマイさんの人柄にふれることができました。以前からとても温和な人だと思っていましたが、大迷惑をこうむったかもしれない時でさえ、マイさんは嫌な顔一つしませんでした。
「なければ、なしでやります」と終始ニコニコしていました。どんな時でも笑顔を絶やさない。決して人を責めない。卓話の内容も素晴らしかったのですが、それ以上に私はマイさんの人柄に感動し、胸がいっぱいになりました。

米山記念奨学会は年間を通して様々なイベントを行います。その中には宗教が絡む微妙な行事もあります。その一つが「クリスマス」です。奨学生の中には「キリスト教の行事」に抵抗がある人もいるかもしれません。私は昔、留学生に関わる仕事をしていました。ある時、私が受け持つクラスの学生たちがクリスマス会を計画しました。その時です。イスラム教徒の学生が「自分は参加しない」と言い出しました。周りの学生は「そんなこと言わないで」と参加を呼びかけました。「ただのパーティーですよ。ゲームしたり、おいしい料理を食べたり、お酒を飲んだりするだけです」と。すると「お酒！？イスラム教徒はお酒禁止です！」と。さらに「異教徒の行事に参加したことがばれたら故郷の親に殺されます！」と。「殺される」はさすがに誇張だったでしょうが、本人の顔は真剣そのものでした。
また別の行事では今度はキリスト教徒の学生でした。校外活動の一環で学生を引率し、神社へ行った時です。ヨーロッパ人の留学生が言いました。「僕はキリスト教徒だから神社でお祈りはできません」と。「形だけでいいから」と言っても手を合わせることは決してしませんでした。お賽銭も「神社に『献金』はしません」と断固拒否。しかし友達と写真を撮ったり鳥居の前でポーズをとったり「観光地」としては楽しんでいました。
そんな経験から私は米山の奨学生と接しながらいつも彼らの宗教行事に対する反応が不安でした。ある年の米山のクリスマス会の時、思い切ってイスラム教徒

の奨学生に訊いてみました。すると思いもよらない答えが返ってきたのです。
「日本のクリスマスは信仰に関係なく『みんなで楽しむ日』と認識しています」と。
米山記念奨学生の心の広さ。異文化への理解力にはただただ驚くばかりです。

みなさん。米山記念奨学会は皆さんからの寄付で成り立っています。
今年度の 2570 地区の奨学生は 18 名。次年度は 17 名となります。
奨学生の数はその地区の寄付金の額に比例します。
かつては 20 数名の奨学生がいた時代もありましたが、昨今は減少傾向にあります。
みなさんのご理解とご協力を切に願っております。

ご清聴ありがとうございました。

# ニコニコボックス

渡邉会員　今月は雪がふり、寒い日が何日か続き、今日あたりより暖かくなりそうな感じで、早く春が来てほしいです。そして、東パスト会長の卓話を楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願い致します。

小林会員　青空が広がっています。RC の旅行で、いつでしたか伊豆に河津桜と菜の花の川沿いを歩いた事がございましたね。嬉しい花の季節が近づいてきました。東さん、卓話よろしくおねがい致します。

浜野会員　本日の会員卓話は東パスト会長ですネ。いつも素晴らしい話を有難うございます。楽しみに来ました。宜しくお願い致します。

寳積会員　節分をすぎてもさむい日がつづいておりますが、週末はとても暖かくなりそうです。ぜひ外出を！私、最近、自宅から職場まで往復 30km 以上を自転車で通勤するようになりました（週末のみ）。本日は東会員、たのしい卓話を楽しみにしております。

清水（武）会員　東美栄パスト会長の卓話、楽しみにしています。

## ◆ 次の例会 ◆

3 月 3 日（金）
　第 2 副 SAA：栗原会員　宮岡会員
　外来卓話：アルパ奏者　倉品真希子様
　例会後定例理事会開催
3 月 10 日（金）
　第 2 副 SAA：沼﨑会員　佐々谷会員
　会員卓話：菊田邦彦会員
3 月 17 日（金）
　例会取り止め